

注 意 報

農技セ第5510号
令和6年8月2日

各関係機関長 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病害虫防除所長
(公印省略)

令和6年度農作物病害虫発生予察情報について

令和6年度農作物病害虫発生予察注意報第5号を発表したので送付します。

令和6年度病害虫発生予察注意報第5号

令和6年8月2日
徳 島 県

7月第1半旬から第6半旬に行った果樹カメムシ類の予察灯調査において、誘殺数が平年に比べて多く、今後果樹園への飛来および被害の拡大が予想されますので、注意報を発令します。

現地ほ場においては、本虫の発生状況を注視するとともに、適切な防除指導をお願いいたします。

作物名：果樹全般（特に、カンキツ類、カキ、キウイフルーツ）

病害虫名：果樹カメムシ類

（ツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ）

1. 発生地域 県内全域

2. 発生時期 8月上旬～

3. 発生程度 多（前年より多く、平年より多い）

4. 注意報発令の根拠

- (1) 勝浦町及び上板町に設置した果樹カメムシ類予察灯への7月における誘殺数が、勝浦町では、ツヤアオカメムシが668頭と、平年（274頭）の2.4倍、チャバネアオカメムシが3,105頭と、平年（318頭）の9.8倍、クサギカメムシが902頭と、平年（70頭）の12.9倍誘殺された（図1）。また、上板町では、ツヤアオカメムシが1,363頭と、平年（75頭）の18.2倍、チャバネアオカメムシが2,043頭と、平年（217頭）の9.4倍、クサギカメムシが1,116頭と、平年（67頭）の16.7倍誘殺された（図2）。
- (2) 7月29日に行ったカキの巡回調査では、被害果が確認され、発生圃場率が50.0%、被害果率が1.8%と、平年（1.7%、0.1%）に比べて高かった。
- (3) 高松地方气象台が8月1日に発表した1か月予報では、気温は平年より高い状態が続くと予想されており、今後果樹園への飛来および加害の増加が予想される。

5. 防除法等

- (1) 8月以降は、果樹園周辺の山林や雑木林から次の世代の成虫が飛来してくるので、園内を巡回し、飛来を確認したら早急に防除を行う。
- (2) 夜行性の虫なので、薬剤の散布は夕方か早朝に実施する。

- (3) 移動性が高いので、広域一斉防除により防除効果の向上に努める。
- (4) 飛来が続く場合は、継続的な防除が必要であるが、薬剤の影響でハダニ類、カイガラムシ類が増加する場合があるので、注意する。
- (5) 薬剤を散布する場合は、風向きに注意し、圃場周辺への薬剤飛散防止に努める。
なお、風の強い日の散布は控える。
- (6) 今後の発生動向については、農林水産総合技術支援センターウェブページ内、病虫害防除所の各種データ (<https://www.pref.tokushima.lg.jp/tafftsc/t-boujoshou/various-data/preliminary-guess-light/>) を参考にする。
- (7) 防除については、徳島県植物防疫指針を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。
(<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/tokushima>)

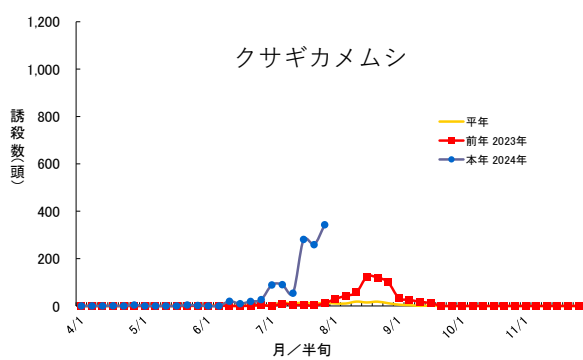
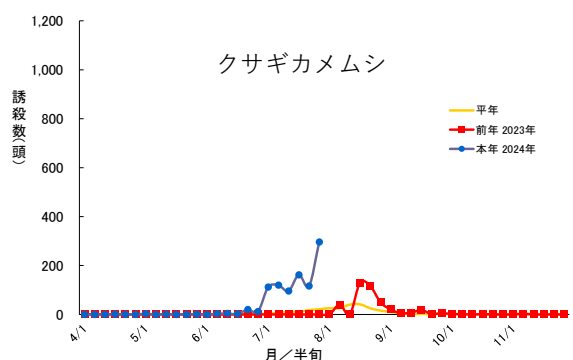
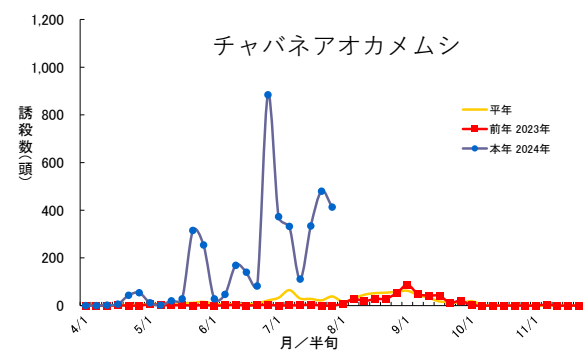
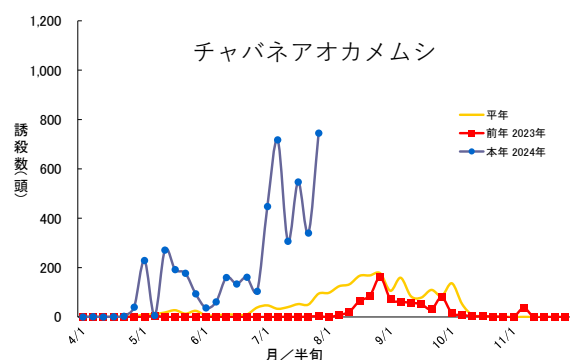
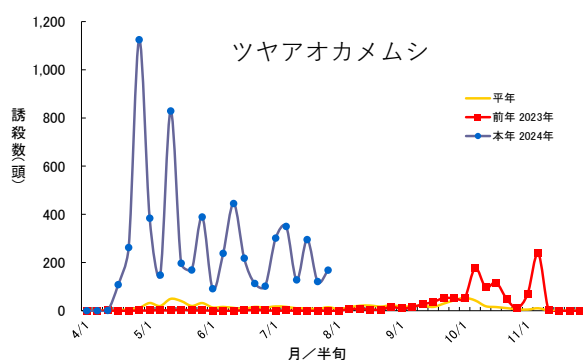
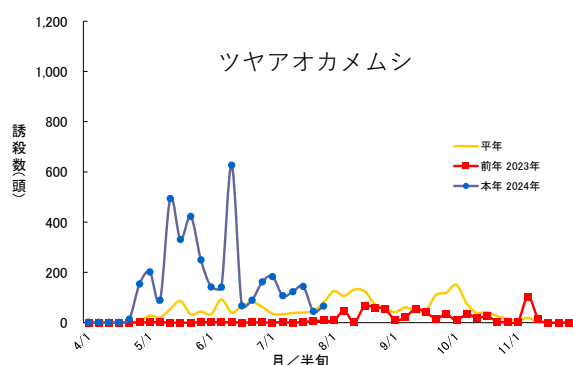


図1 予察灯における各種果樹カメムシ類の誘殺数
(勝浦町)

図2 予察灯における各種果樹カメムシ類の誘殺数
(上板町)

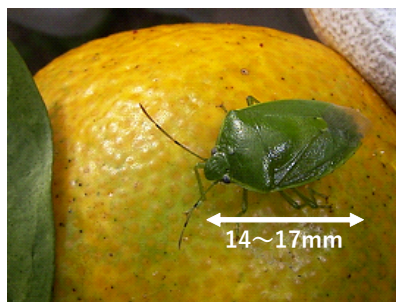


図3 ツヤアオカメムシ



図4 チャバネアオカメムシ

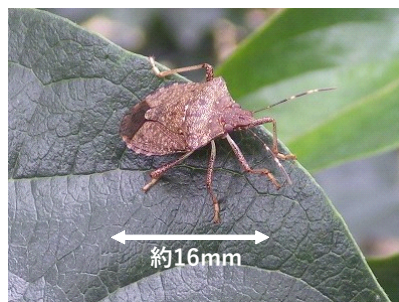


図5 クサギカメムシ

表2 カメムシ類に登録のある主な農薬(令和6年8月1日現在)

適用作物名	薬剤名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	I R A C コード
かんきつ	アディオオン乳剤	2000倍	収穫14日前まで	6回以内	3A
	アグロスリン乳剤	1000~2000倍	収穫7日前まで	3回以内	3A
	ロディー乳剤	2000倍	収穫7日前まで	4回以内	3A
	テルスター水和剤	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内	3A
	アクタラ顆粒水溶剤	2000倍	収穫14日前まで	3回以内	4A
	アドマイヤーフロアブル	2000~5000倍	収穫14日前まで (但し、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	3回以内	4A
	アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	4A
	スタークル顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	4A
	ダントツ水溶剤	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内	4A
かき	アグロスリン水和剤	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内	3A
	テルスター水和剤	1000~2000倍	収穫14日前まで	2回以内	3A
	アクタラ顆粒水溶剤	2000倍	収穫3日前まで	3回以内	4A
	アドマイヤー顆粒水和剤	5000~10000倍	収穫7日前まで (但し、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	3回以内	4A
	スタークル顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	4A
	アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	4A
	モスピラン顆粒水溶剤	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内	4A
	キックオフ顆粒水和剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	28・4 A
	キラップフロアブル	2000倍	収穫7日前まで	2回以内	2B
	パーマチオン水和剤	1000~2000倍	収穫30日前まで	3回以内	1B・3A
キウイ フルーツ	アディオオン乳剤	2000倍	収穫7日前まで	5回以内	3A
	テルスターフロアブル	3000倍	収穫前日まで	2回以内	3A
	アドマイヤーフロアブル	2000倍	収穫前日まで (但し、露地栽培については発芽期から開花期を除く)	2回以内	4A
	アルバリン顆粒水溶剤	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内	4A
	スタークル顆粒水溶剤	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内	4A
	ダントツ水溶剤	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内	4A